



今ではすっかり定着した八十嶋 洋子プレゼンツ「クララの室内楽」のシリーズを、銀座十字屋ホールで始めた頃は、正直続くとはいってなかった。最愛の旦那様を亡くされ、悲しみを振り切るかのように演奏へ専心される姿を見ると、果たして八十嶋さんの体力がもつのかと心配だったのだ。ところが杞憂どころか、今やまるでクララ・シューマンの魂が乗り移ったかのように、クララの音楽的化身となって、ますます活動の場を拓いている。改築のためにむしろ十字屋ホールのほうが先に閉場してしまい、八十嶋さんの信念の強さに改めて敬服している次第だ。そんな彼女が、小児がんケアのために、「クララの贈り物」というチャリティ・コンサートを始められる。愛する者、愛する音楽を病に奪われた八十嶋さんだからこそ、音楽のもつ治癒力を最大限に高めようとされている。彼女の放つ「お薬」の前に、今度もまたむしろがんの方が先に退散するのではないかと密かに思っている。



〔クララ16才、ピアノ協奏曲初演当時〕

〔銀座十字屋／森泰義〕



八十嶋 洋子 やそしま ようこ (pf)

東京都出身。東京藝術大学ピアノ科卒業。旧西ベルリンにてピアノをG・ブッフヘルト、D・ヘクスタ両氏に、室内楽をR・ワインスハイマー氏に師事。在独中ジュネーブ国際コンクール他、多くのコンクールで伴奏ピアニストを務める。ベルリンのロイヤルアカデミーオペラダンスの正式ピアニストとして数々の公演に出演。1982年ベルリンフィルハーモニー室内楽ホールにて八十嶋龍三とのデュオでデビューの後、チェロとピアノの作品の研究を続け、ドイツ日本各地で演奏活動を続けた。大学在学中より永年にわたり、日本を代表する作曲家、平井康三郎氏に師事、多くの日本歌曲の初演、ピアノソロでNHK-FM1に出演。現在ピアノソロをはじめ、(チェンバロを含む)室内楽奏者、伴奏者として活動の他、国立がん研究センター他、病院、施設での音楽会企画にも積極的に取り組んでいる。これまでに、久保田裕子、林美奈子、松崎俊三、永井進、田村宏、の各氏に師事。吉祥女子中学高等学校課外講師。また、スタジオ・フリーデル、チェロアンサンブルの「ゴージュの会」を主宰し、恩師である「ベルリンフィル12人のチェリストたち」の創始者ワインスハイマー氏と現在の「12人」の協力を得て夫の遺志を継ぎ、チェロ合奏の楽しさを広めている。2018年3月ドイツのボルケン、フランクフルトにて室内楽コンサートに出演。2015年に始めた「クララの室内楽」シリーズは毎回魅力的なゲストを招き、新しい切り口で音楽に迫り、聴衆に新鮮な喜びを伝えている。来年、第7回は再び文学とのコラボを、2021年の最終回は、ドイツでも公演の予定。



漆原 啓子 うしはら けいこ (vl)

高い技術力と深みある音楽性で飛躍する本格派ヴァイオリニスト。1981年東京藝術大学付属高校在学中に、第8回ヴィンヤフスキ国際コンクールに於いて最年少18歳、日本人初の優勝と6つの副賞を受賞。その翌年、東京藝術大学入学と同時に本格的演奏活動を開始した。1986年、ハレー・ストリング・クアルテットとして民音コンクール室内楽部門で優勝並びに斎藤秀雄賞を受賞。ソリスト、室内楽奏者として第一線で活躍を続け、2016年デビューから35周年を迎えた。これまで、国内外での演奏旅行のほか、T.V出演、海外主要音楽祭、マスタークラスなどに多数出演。国内では特に木曾音楽祭、宮崎国際音楽祭等に毎年出演している。また、V.スピヴァコフ、E.ルカーチ、J.ピエロフラーヴェク、F.ライトナー、H.シフ等の指揮者や、ハンガリー国立響、スロヴァキア・フィル、ウィーン放送響等のオーケストラと共演し、賛辞を浴びた。日本国内の主要オーケストラとの共演のほか、全国各地でリサイタル、室内楽に出演。高い評価を得ている。2011年デビュー30周年を記念しリリースした、自身初となる「J.S.バッハ：無伴奏ヴァイオリンのためのソナタ&パルティータ」(日本アコースティックレコーズ)は、レコード芸術特選盤に選ばれた。また、2014年に漆原朝子と録音した姉妹デュオCD「無伴奏ヴァイオリン・デュオ」は平成26年度文化庁芸術祭レコード部門優秀賞を受賞し、最新は、2017年にヤコブ・ロイシュナーと「モーツァルト：ヴァイオリンとピアノのための作品全集」をリリースし、文化庁芸術祭優秀賞とレコード芸術特選盤に選ばれた。2017年9月15日に浜離宮朝日ホールで行われた同CDリリース記念リサイタルは、各方面から好評を博した。常に第一線で活躍を続け、安定した高水準の演奏は音楽ファンのみならず、指揮者、オーケストラ・メンバー等の音楽家の間でも非常に高い信頼を得ている。現在、国立音楽大学客員教授、桐朋学園大学特任教授として後進の指導にも力を注いでいる。



水谷川 優子 みやがわ ゆうこ (vc)

5歳からチェロを始め、桐朋学園女子高等学校音楽科卒業、同大学ディプロマコースを経て、ザルツブルク・モーツァル テウム音楽院首席卒業、同大学院修士修了マギスターの称号を得る。同時期にローマのサンタ・チェチリア国立アカデミーのソリストコースにて研鑽を積んだ。最新のソロアルバム「CON ANIMA〜魂をそえて」は『レコード芸術』誌で準特選盤、優秀録に選出。「勇気づけ、包んでくれるような暖かき心」(東京新聞)「心をノックするチェロ」(毎日新聞)と評されている。ソリストとしての他に邦楽など異分野アーティストとのコラボ (NHK第35回日本賞授賞式で能管の一噌幸弘氏と皇太子御夫妻のご列席のもとで記念演奏) や、「Ensemble Φ」(Trio Sollà)などのメンバーとしても活動中。現在、日本とドイツに拠点を置いて各国で演奏。近年はエジプトやヨルダン、シンガポールでもオーケストラと共演。コンサート活動の傍らでライフワークとして少年院、ホスピスなどの施設への訪問演奏を続けている。ユニークな活躍ぶりが注目されラジオやテレビにゲスト出演も多く、2018年4月より1年間ラジオ番組MUSIC BIRD「コンサートイマジン Presents 今ドキ!クラシック」のパーソナリティに抜擢、また出演したNHK FM「長崎・祈りの音色」が平成30年度文化庁芸術祭 優秀賞受賞、その演奏が高く評価された。



太田 なち子 おおた なちこ (vl)

奈良市出身。幼少よりヴァイオリンを始める。京都市立堀川高校音楽コースを経て、東京藝術大学音楽学部を卒業後、渡独。大江九治、林忠保、尾島綾子、岩崎洋三、ウェルナー・ホイトリックの各氏に師事。ドイツ・フィルハーモニーアンガリカなどのオーケストラでヴァイオリン奏者を務めた後、ボルケン市立音楽学校で今年7月まで教鞭を取る。弦楽四重奏、三重奏、ピアノトリオ、デュオなどの様々な室内楽の分野でドイツを中心にオランダ、フランス、ルーマニアなどで活躍している。



野田 裕美子 のだ ゆみこ (vla)

東京都出身。東京藝術大学で海野義雄教授に師事、在学中フランス政府給費生としてパリ国立高等音楽院に留学、P・ドゥカンとJ・ユボー両教授に師事、ヴァイオリンと室内楽ともに一等賞を得て1981年卒業。同年渡独しヴァイオリンをI・オズイム、室内楽をN・ブレイン、ヴィオラをS・コロエ各氏に師事。1984-1985年カッセル国立歌劇場及び1985-1988年フランクフルト放送管弦楽団それぞれのコンサートマスターを務めた後、1988年フランクフルト歌劇場オーケストラの第二首席ヴィオラに就任。2005年オーケストラ退団以降、フリーのヴァイオリン及びヴィオラ奏者として、ヨーロッパ各国、ブラジル、日本で演奏、また演劇プロジェクトにおいて演技も含めた活動多数。2011年から一人デュオ『エイリアス』により、オリジナル編曲を中心に教会コンサートや美術展、レセプションなど様々なステージに立つ。録音にレーガー・ピアノ三重奏 (CD, Etcetera records)、訳書に『シュルツのいたずらオペラガイド』(共訳、音楽の友社) など。



野田 一郎 のだ いちろう (cb)

長野市出身。東京藝術大学で今村清一、江口朝彦両教授に師事し卒業後渡独。旧西ベルリン国立音楽大学でR・ツェベリッツ教授に師事。在学中の1979年マルクノイキルヘン国際音楽コンクールで二位入賞。翌年同校を卒業と同時に、フランクフルト歌劇場オーケストラの第一首席コントラバスに就任。同年よりマインツ室内合奏団とマインツ管楽アンサンブルに属し、ヨーロッパ各地においてコンサートや作曲家ジャン・フランスの作品初演、CD・放送録音などで演奏。1982年アイル・オブ・マン国際コンクールで特別賞受賞。1989-1994年ヴェルツブルク音楽大学、2000-2013年ダルムシュタット音楽芸術アカデミーにて教鞭をとる。1990年からは毎年日本でも、ヘルムホルツ音響理論に基づき座奏・ガット弦などを取り入れた『野田メトデ』コントラバスセミナーを開催。2005年以降ヴィオラ・ダ・ガンバ奏者ホセ・バスケスに古楽を学び、ガンバ及びヴィオローネによりルネサンス・バロックの分野においても定期的に演奏活動。四季を問わず、余暇の大部分を自転車に乗って過ごす。子供時代からの趣味は鉄道・鉄道模型。



天沼 朝子 あまぬま あさこ (sop)

フェリス女学院大学音楽学部演奏学科卒業。同大学大学院修了。江口奨学金、三宅賞を受賞。在学中、室内楽の楽しみ、オーケストラ協演のタベ等に出演する他、学外では第86回読売新聞社主催新人演奏会、高円宮久子妃殿下ご臨席のユースフォーラム、オペラ彩「トスカ」牧童役等に出演。第45回及川音楽事務所新人オーディション最優秀新人賞第1位、第1回M.グリエルム声楽コンクール新進演奏家部門第2位、第一回K声楽コンクール優秀賞等を受賞。現在、フェリスフラウエンコーアとしてBS-TBS「日本名曲アルバム」に出演中。フェリス女学院大学音楽学部非常勤副手。これまでに、土屋広次郎、M.グリエルム、蒲谷昌子の各氏に師事。また、2018年よりアイト協会の寄付を目的としたチャリティコンサートを主催している。

王子ホール 東京都中央区銀座4-7-5

〒104-0061中央区銀座4-7-5 tel. 03-3564-0200 (JR有楽町駅銀座口より徒歩7分) 地下鉄 銀座駅下車A12出口より徒歩1分・銀座一丁目駅下車9出口より徒歩5分・東銀座駅下車A2出口より徒歩2分)

ソニービル	教寄屋橋交差点		
	和光		銀座通り
銀座四丁目交差点	三越		松屋
晴海通り	三越	王子HD本館	OJIHALL
		入口▲	